
すぎの子共同保育所 創立20周年記念パーティー



20周年記念パーティー

9月3日の日曜日、阿波観光ホテルにて、すぎの子共同保育所20周年記念パーティーが行われました。参加者は総勢177名。これまでの20年の子どもたちの表情を映像でふりかえりながら第一部が始まり、今も昔も変わらない子どもたちの笑顔に、参加者の顔も自然とほころびました。設立当時の関係者の苦労などが紹介され、それぞれの年度に関わった保護者や、社会人になった卒園児たちから懐かしい話も聞かれました。

在園児、在園保護者の歌や卒園児による合奏や参加者全員での「ぞう列車」の合唱など、時を経てもなお変わらぬ共保への思いを感じる時間となりました。

第2部では10周年記念に作成されたビデオが上映され、参加者全員のスピーチがありました。すぎの子共同保育所に寄せられる想いは、国府町での新園舎建設への力となっています。

子どもとも共に育った20年。1年1年をつないできたこれまでに、さらに30周年に引き継いでいきたいと、これから広げていきたい夢や決意が語られました。



おしらせ

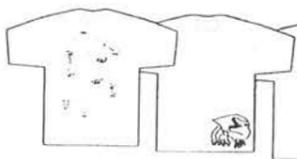
すぎの子共同保育所 **フリーマーケット**

新園舎建設のための
すぎの子共同保育所
フリーマーケット

とき 9月16日(土) 15:00~17:00
場所 すぎの子共同保育所

田宮にて長年にわたって開催したおまつりでのパサーは、皆さまのおかげで大好評でした。今回は、他団体にも出店していただきフリーマーケットを開催いたします。保育所に眠っていたお宝(?)をはじめ、お引越しに向けての在庫一掃コーナーもあります。ぜひお立ち寄りください。

- 出店内容
- ☆ 物品販売 (子ども服・ベビー用品・日用品・食器・雑貨etc)
 - ☆ 手作り・オリジナル商品 (共保Tシャツ・子どものつぶやきカレンダー・バッグetc)
 - ☆ 食べ物 (抹茶ケーキ・寒天ゼリー・千子ミ・チューペット・飲み物etc)
 - ☆ 徳教 (算数教育の研究サークル) による算数教具・書籍の販売etc
 - ☆ 学生による企画 (輪ゴム鉄砲・輪投げ・積木つみなどの遊びコーナー)
- ※お買い物の間、学生さんが子どもの遊び相手になってくれます。



おひさま事業部より
共保Tシャツ 販売してます。 サイズ 100.110
*ヘリコプター柄大人用ポロシャツもあり
SS, S, M (赤・ロイヤルブルー)

2007年度募集
第1回
**入所見学
説明会**
9月20日(木)9:00~



**子育て
講演会**

「思春期を見通した幼児期の子育て」(仮題)
講師 山下奈緒美さん 徳島大学臨床心理士
とき 2007年1月27日(土)10:00~12:00(9:30開場)
場所 徳島県立障害者交流プラザ

*ホームページあります。おひさま <http://npo-ohisama.org/> 保育所 <http://www.kyoho.org/>

おひさま 通信 VOL.1



2006年9月8日発行
特定非営利活動法人
共同子育て広場おひさま
〒770-0003
徳島市北田宮4-9-10
Tel/Fax 088-633-2211

すぎの子共同保育所
新園舎建設進行中!



上様式のご案内
9月18日(月) AM10:00~
子どもの歌・神事・もち投げ 等
場所・国府町早瀬窪ヶ原
*当日、駐車場がございませんので、お車で参
りの方はなるべく乗り合わせてきてください。

梅雨の頃、空模様を気にしながらの造成工事が、おやじ達の汗と力で無事終了し、6月14日に建築確認申請が承認されました。6月18日には、設計士・工事関係者・保護者・職員・理事が集まり、建築の方針を確認し合う着工の会を行いました。保護者・職員からは、新園舎に対する思い、「地域に理解される保育所にしたい。」「子どもたちがのびのび、生き生きできる保育所にしたい。」「大人もほっとできる保育所にしたい。」など、どんな保育所にしたいかの原点にもどる話になりました。大工さんには、「安全に十分留意した上で、いっしょにできることを考えていきましょう。」と、私たちの思いを受けとめて頂きました。

やっと梅雨があけた猛暑の中、基礎工事にかかりました。早速に浄化槽の埋設工事が行われ、水道も建設敷地まで引き込まれました。大変な暑さと埃の中での作業が早朝より暗くなるまで続きましたが、基礎工事が完了し、8月下旬より、大工工事が始まりました。

いよいよ9月18日には、持来した上様式を執り行います。当日はもち投げの他子どもたちの元気な歌も聞かせて頂きたいと思っています。是非参列の上、いっしょにお祝いして下されば幸いです。

現場に立ってひとつひとつ工事が進むのを見るたびに、「ほんとうにここに園舎が建つんだ。」と、ワクワクすると同時に、たくさんの方々の思いが詰まってこの園舎ができることを考えれば、身の引き締まる思いがします。外壁はどんなものがあるだろうか?壁は?屋根に子どもの絵を入れるってどう?などなど、温かみを感じられる園舎にしようと考えているところです。またご意見をお聞かせ下さい。工事が順調にすすみ、年内には引っ越しをしたいと考えています。まだまだ、資金の問題を始め、クリアすべき課題は多くあります。今後とも多岐に渡って、共同子育て広場おひさまとすぎの子共同保育所をご支援いただけますよう、よろしくお祈りします。

新園舎建設資金 ご支援の お願い

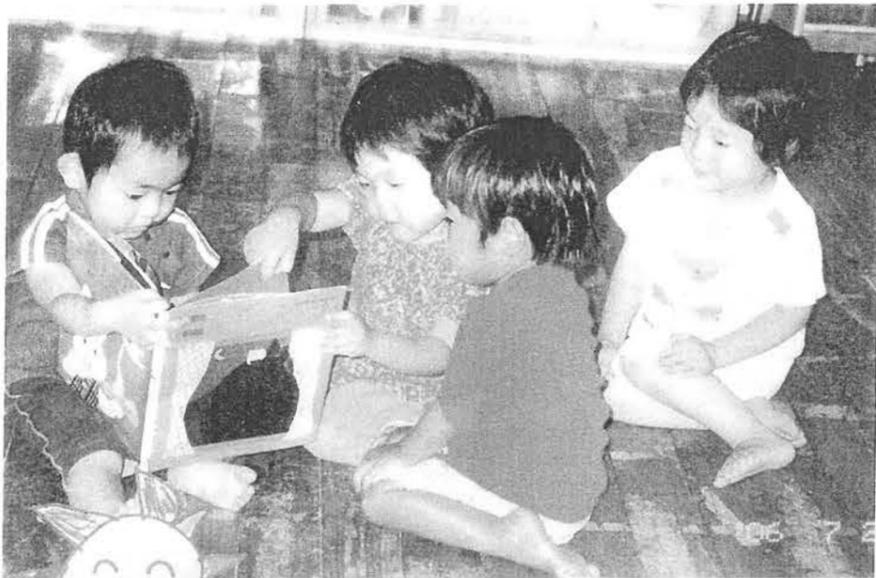
これまでに、およそ4093万円(9月1日現在)の寄付・債券を皆様からお寄せいただきました。OBをはじめ、すぎの子共同保育所新園舎建設にご理解をいただいている多くの方々のご協力、ご支援に心よりお礼申し上げます。これから広いリズム室や建物全体ができ、子どもたちの生活する場所がたちになっていきます。新しい地域でも子育ての拠点となるよう力を合わせて取り組んでいきたいと思っています。引き続き、ご支援をよろしくお願いいたします。

◎寄付・債券について
お振込み時の通信欄に、「債権」又は「寄付」と明記し氏名と各々の金額をご記入ください。債権は1口50000円とし、債券番号順に5年後から年間25口前後を順次返済予定です。



振込口座および振り込み名義
郵便振替口座 01610-2-93045
口座名称 特定非営利活動法人共同子育て広場おひさま

特定非営利活動法人
共同子育て広場おひさま 事務局



おひさまを設立して1年が経ちました。

平成17年度は、設立年であり、国府での保育所開設に向けての諸準備を中心に、会員拡大・組織の確立・その他の諸事業に取り組んできました。平成18年度は、いよいよ保育事業の開始。園開放や講演会にも、引き続き取り組みます。

保育事業

「特定非営利活動法人共同子育て広場おひさま」は、以下の理念に基づき、すぎの子共同保育所を運営していきます。

- 1、日本国憲法と子どもの権利条約・児童福祉法の理念に基づき、子どもの発達保障を大切にされた保育を提供します。
- 2、子育ての主体者としての親（保護者）が、保育や運営に意見がいえるところを保障します。保護者・職員・理事会の三者の協議の場として、運営協議会を持ち、互いの立場・意見を尊重して、保育所経営・運営に取り組めます。
- 3、すぎの子共同保育所の子どもだけでなく、すべての子どもたちの幸せを願い、広く地域に開かれた行事や、他団体や行政への働きかけに取り組めます。
- 4、非営利活動法人として、保育事業内容や予算・決算などの情報公開にすすんで取り組みます。

保護者に対する子どもの健全育成のための啓発事業

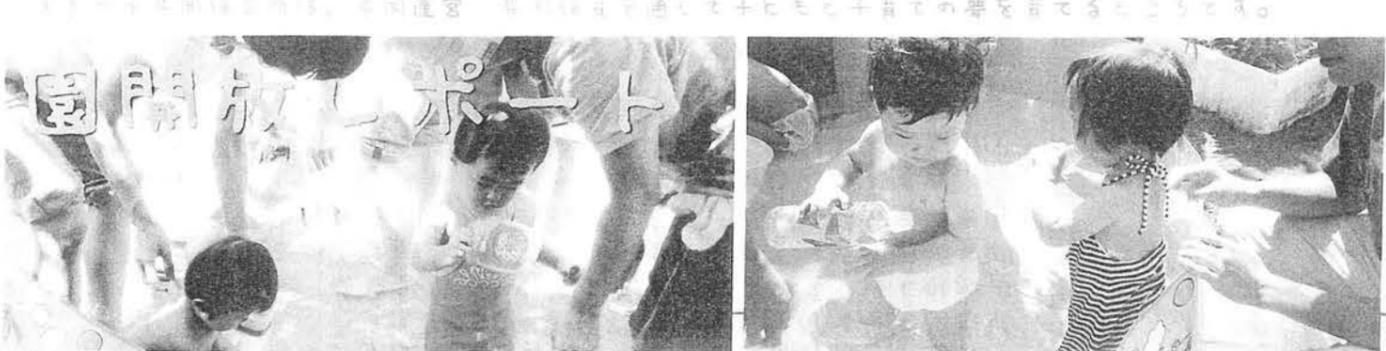
保育園の施設を開放してプール遊びやリズム活動を親子で体験したり、食や子育てについての講演会等を計画・実施したりします。主に第1・第3土曜日にさまざまな取り組みを実施いたします。くわしいことは、保育所へお問い合わせください。

子育ての育児相談事業

平日の14時から17時まで電話等による育児相談を受け付けています。どんなことでもお気軽に。まずは、話してみることです。

子どもの服装として

このNPOの活動を資金面から支えるために、バザーや子どもの衣服等の製作・販売事業を行っています。子どものかいた絵をモチーフに、オリジナルのTシャツやトレーナー・手提げ袋等を作り販売しています。なかなか好評です。ぜひ、一度お越しください。



プールで水遊び

9月2日(土)すっかり晴れたプール日和に、15名の子ども達(1歳児～5歳児)が、手あそび、リズムをした後、お父さん、お母さんに見守られながら、プールでの水遊びを楽しみました。子どもにとって水遊びは、バランスのよい身体的発達を促し、また情緒の安定にも大きな影響を及ぼすと言われ、心身ともに開放できる遊びです。

初めは、様子をうかがい立ちすくんでいましたが、少しずつ慣れ、足の間をワニのようになってくぐったり、1才見さんも座って水の中のおもちゃを容器に入れたり出したりを楽しんだり、ペットボトルのシャワーをかけ合ったりと、遊べるようになりました。

「日頃は親子だけの遊びが、たくさんの友達と一緒に遊べてよかった」「いろいろ工夫した遊びを教えてもらい、来てよかった」「空ペットボトルのシャワーは単純だけどおもしろかった」など、感想をもらいました。まだまだ遊びが足りない様子で、次回を楽しみに帰られました。

給食試食会

5月20日(土)、すぎの子共同保育所で給食試食会が行われ、大人、子ども合わせて37名の参加がありました。献立は、給食人気NO.1のフィッシュボール(白身のすりみとゆでつぶしたジャガイモを混ぜ、丸めて油で揚げたもの)を中心に、ごはん、季節野菜のおかかおえ、きのこ汁でした。普段の給食では、まず、お茶碗、汁椀、お皿をそろえて自分の席に持って行き、それから一つずつ配膳台に持って行って自分の食べられる分量だけ自分で入れています。日頃慣れている子どもたちに教えてもらいながら、保護者もとても楽しそうに給食風景を体験していました。

「お汁のだしがとても素材で美味しい」「たまねぎやキャベツ、人参など、噛み応えのある野菜をおいしそうに食べているのにびっくりした」「フィッシュボールがほんのりとした塩味で美味しい」と、様々な話をしながら和気あいあいと試食時間を過ごしました。その後、給食職員を囲んで、家庭での食に関する疑問や悩み、日頃思っていることなどを話し合いました。

『給食を通して子どもの心やからだにとって何が大切なのかを一緒に考えたい』と企画した試食会でしたが、参加した保護者からは、「子どもの園での様子が垣間見れてよかった」「園と家庭での方針を一致させたかったので、からだと舌で体験できてよかった」「各家庭でのいろいろな話を聞けてよかった」と大好評でした。初めてのとりくみだったので、多少の課題は残ったものの、家庭での子どもの様子も見え、保護者と食について話し合うことができ、とてもよい機会になりました。

「今、日本の保育状況は？」

ご存知のように、少子化が大きな問題となり、それぞれの自治体でその対策に取り組んでいます。国も今年6月、「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」を制定し、「認定子ども園」を制度化しました。これは、「現在の社会情勢・利用者の多様なニーズへの対応のため」としてはいますが、利用料金を自由に設定でき、又利用者との直接契約であるなど、この制度そのものはかならずしも良いものとは言えません。また規制緩和にとまなない、企業の参入等も懸念されます。保育教育の内容や環境も心配です。保育や教育は、利潤や効率を考えるのではなく、本当に子どもたちの幸せを考え、子どもたちを守るものでなくてはなりません。憲法や教育基本法の改定がされようとしている今、私たちは、しっかり目を開き、手をつなぎ、憲法を守り、児童福祉法に基づいた運動を進めていかなければならないと考えています。

